作成日 2025 年　7 月 31 日
（最終更新日 2026 年 8 月 3 日）

「情報公開文書」（Web ページ掲載用）

課題名：小児固形がん患者の放射線治療による消化管潰瘍、出血などの重篤な消化管障害発生に関する後ろ向き観察研究

１．研究の対象
2015 年～2024 年に腹部・骨盤の標的に対して放射線照射を受けた照射時 20 歳未満の横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、神経芽腫、腎芽腫の患者さん

２．研究期間
研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日
当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始(予定)日：2026 年 9 月 1 日
提供開始(予定)日：2026 年 9 月 1 日

４．研究目的
小児がん治療において放射線治療は重要な治療モダリティであるが、重篤な放射線関連消化管障害については広くは知られていません日本国内における重篤な放射性消化管障害の実態について調査を実施します。危険因子などを抽出することによって今後のよりよい診療に活用することを目指します。

５．研究方法
放射線腫瘍医の研究グループである日本放射線腫瘍学研究機構(JROSG)と、小児がん研究グループである日本小児がん研究グループ(JCCG)の所属施設に対してアンケート調査を実施し、解析を行います。

６．研究に用いる試料・情報の種類
情報：病歴、治療歴、消化管関連副作用等の発生状況　等

７．外部への情報の提供
情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、記録媒体、郵送、電子的配信等により共同研究機関へ提供します。
対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

８．研究組織
日本放射線腫瘍学研究機構(JROSG)　https://jrosg.or.jp/
日本小児がん研究グループ(JCCG)　https://jccg.jp/

９．利益相反（企業等との利害関係）について
当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。
使用する研究費は運営交付金及びがんのこどもを守る会研究助成金です。

１０．本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

１１．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

筑波大学（代表機関）における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：　小児科、福島紘子
住所　：305-8576　茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：（平日 10～15 時）029-853-5635

浜松医科大学における連絡先
担当者の所属・氏名：　小児科、坂口公祥
住所　：431-3192 静岡県浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号
連絡先：053-435-2111（代表）

研究代表者：
筑波大学附属病院　小児科　福島紘子
放射線腫瘍科　水本斉志

共同研究施設：
京都府立医科大学大学院医学研究科放射線診断治療学　相部則博
兵庫県立こども病院　血液･腫瘍内科　長谷川大一郎
兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター放射線治療科　　出水祐介
千葉西総合病院　放射線治療科　藤浩
神奈川県立こども医療センター　血液･腫瘍科　林亜揮子
久留米大学　放射線腫瘍センター　淡河　恵津世
金沢大学附属病院　小児科　藤木俊寛
九州大学病院　小児科　大場　詩子
広島大学　放射線腫瘍学　西淵いくの
埼玉医科大学国際医療センター　放射線腫瘍科　岡本雅彦
三重大学医学部附属病院　小児科　豊田　秀実
滋賀医科大学医学部附属病院　小児科学講座　大封智雄
聖路加国際病院　小児科　長谷川　大輔
埼玉県立小児医療センター　血液･腫瘍科　荒川ゆうき